

年 組 名前：

問1

6月26日の地震では、
どのような偽・誤情報が、交流サイトで
確認されましたか。具体的な投稿を
3つ答えてください。

- ・
- ・
- ・

問2

偽・誤情報に惑わされないためには、
どこのなにを確認すればよいですか。

-
-
-

問3

富士山科学研究所の藤井所長は、
火山活動と地震の関連について、
どのように話していますか。

-
-

問4

あなたが、交流サイトを利用する時に、注意していることを書き出してください。

-
-
-

地震「富士山噴火」はデマ 県 冷静な行動呼びかけ

富士河口湖町で26日深夜に最大震度6弱を観測した地震を巡り、山梨県は30日、交流サイト（SNS）で地震と富士山噴火を結びつける根拠のない投稿が複数確認されているとして、ホームページで注意喚起した。専門家は「地震で火山活動が活発化している事実はない」としている。県は偽・誤情報に惑わされず、冷静に行動するよう呼びかけている。

県防災危機管理課によると、県担当者が地震の発生直後からSNS上で複数の偽・誤情報を確認した。「富士山が噴火するらしい」「関東は終わりが近い」「予言します」など地震と富士山噴火の発生を結びつける根拠のない内容だった。投稿者の意図は不明としている。

県は「気象庁の発表では現時点で富士山の火山活動に活発化の兆候は見られず、SNSの投稿は科学的な根拠が確認されていない」と注意喚起した。30日にはホームページで「不安をおおる根拠のない情報が見られる。不確かな情報に惑わされることなく、気象庁などの公的機関が発表する正確な情報を確認してほしい」と呼びかけた。

政府の火山調査研究推進本部政策委員長で県富士山科学研究所の藤井敏嗣所長は「火山活動と関連した地震であれ

ばもつと山頂に近く、より深い場所で起こる」と説明している。政府の地震調査委員会も「富士山直下での火山活動が高まっているとの観測事例がない」としている。

県火山防災対策室の矢野久室長は「一人一人が行政機関などの公式な情報入手するよう心がけ、冷静に判断してほしい」と求めた。

〈宮川祐人〉

(2026年7月1日付 山梨日日新聞 28面)